

令和4年度 課長方針 検証

部課	市立病院 事務局 庶務課	課長	小川 淳治
----	--------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・安定した病院経営に向けての経営強化プランを策定し、安定経営を目指す。 ・各診療科等の医療従事者に様々な情報発信と共有化を図り安全な医療を提供する。 ・庶務課職員は常に病院経営を意識しながら業務を遂行する。 ・庶務課職員は、日頃から人身の体調管理とマスク、手洗い、手指消毒、黙食など感染対策に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
公立病院改革等への対応	経営改革プランの後継計画として公立病院経営強化プランを策定する。	公立病院改革のさらなる推進を図るため、国から示された公立病院経営強化ガイドライン等に基づき、公立病院経営強化プランを策定し、病院事業経営の強化に取り組み経営の健全化を図る。	○	経営強化プランの策定にあたり、令和5年2月28日に開催された埼玉県南部地区地域医療調整会議で再検証を踏まえた経営強化プラン骨子の説明を行い了承を受けた。
障害者雇用の促進	障害者活躍推進計画に基づき安定した障害者雇用を目指す。	法定雇用率の達成に向け、新たな業務内容を追加し、幅広く募集を行いながら障害者の雇用確保に努める。	○	障害者雇用の業務内容を従前からの看護助手業務のほか、新たに洗濯業務、駐輪場整理業務をホームページ、ハローワークを通じた募集を行った結果、1名を採用し法定雇用障害者数を達成するに至った。
新型コロナ感染症対策	発熱外来と新型コロナワクチン個別接種を実施する。	新型コロナウイルス感染症に対応した検査・コロナワクチン接種等の医療の提供を行い、感染症拡大防止に努める。	◎	発熱外来でのPCR・抗原検査を12,848件実施。新型コロナワクチン接種(従来型、2価ワクチンBA4/5、小児、乳幼児)を月曜～金曜14:00～16:30に実施。令和4年度11,576件接種。

<p>医業収益の向上</p>	<p>施設基準の取得と入院患者を確保し収益向上を目指す。</p>	<p>診療報酬改定により新たに評価される項目に対し院内関係各科との連携を図り、多くの施設基準の届出を行い収益確保に繋げるとともに、地域医療連携担当を中心に他の医療機関からの患者の紹介を積極的に受け入れを行い増患・増収に努める。</p>	<p>△</p>	<p>令和4年4月に「一般不妊治療管理料」(年間増収見込み20万円)、令和4年10月に「感染対策向上加算3 連携強化加算」(年間増収見込み25万円)の届出を行った。令和4年度入院患者数27,992人、外来患者数105,912人、前年度より2,846人患者数が増えたこともあり医業収益の増加には繋がった。</p>
<p>建物整備の検討</p>	<p>蕨市立病院施設整備検討委員会において耐震化整備に向けた検討を行う。</p>	<p>耐震化整備のための方向性についてとりまとめる。</p>	<p>◎</p>	<p>既存施設の耐震化と大規模改修について検討を行った結果、耐震整備は適さないとの判断をし、建て替え案として、現地建て替え2案、移転新築1案の3案を含めた施設整備検討報告書を取りまとめた。</p>

令和4年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 看護科	看護部長	白畑 多加江
----	--------------	------	--------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・専門職としての倫理観・知識・技術のみがき、看護の質向上に取り組む。 ・チーム医療を推進し、効果的な看護の提供を図る。 ・社会の変化に柔軟に対応し、健全経営に看護の視点で参画する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
診療報酬改定の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な病床コントロール ・看護必要度の精度向上 ・急性期一般入院料5の維持のための迅速な対応 	医業収益向上のために、入院・外来患者を積極的に受け入れ、緊急搬送応需の向上を図る。効率的な業務の見直し、適正な人員配置を行い対応する。	△	コロナ禍の欠員状況にも、協働体制をとり事業継続できた。緊急入院、特に整形外科手術にも即応し、件数は増加している。だが、急性期、特に重症度患者の受け入れは滞り、急性期一般入院料5は堅持できず。
医療安全・感染対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大期的確な対応 ・部門全職種を対象とした感染予防対策研修の実施 	感染管理推進のための知識を深め、実践に活かす対策を強化し地域に貢献する。	◎	助手を含めた感染に係る研修を実施。コロナ患者受け入れに関するマニュアルの整備点検。発熱外来を円滑に実施し、最大限入院患者の受け入れに対応した。
患者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・医療倫理・接遇研修 ・ACPに関する研修の実施 ・患者アンケート結果の分析・フィードバック 	患者の求める医療サービスの向上を図るために接遇の質を向上させる。	○	医療倫理、接遇研修の実施、患者満足度アンケートの結果を開示、改善事項を検討している。看護科職員表彰制度(ハートウオーミング賞)により意識向上を図っている。

令和4年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 薬剤科	薬剤部長	濱浦 睦雄
----	--------------	------	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全に細心の注意を払い、患者にとって有効かつ安全な薬物療法に貢献し、質の高い医療サービスを提供する。 ・蕨市の中核病院として、医療・福祉に必要な医薬品の安定供給に努める。 ・退院後も地域において必要な薬物療法が継続されることを目指し、薬剤業務の充実を図る。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
病棟業務の充実	退院後も視野に入れ、入院患者の処方適正化および退院時の情報提供に取り組む。	効率的にポリファーマシー対策に取り組むための方法、ならびに、退院時、必要な患者に必要な薬剤情報を提供するための方法を検証し、実践する。	○	薬剤総合評価調整加算および退院時薬剤情報管理指導料は算定件数は前年と同程度であったが、退院時薬剤情報連携加算の算定件数が増加しており、ポリファーマシー対策を地域へとつなげる取り組みができつつあることを示している。
外来業務の充実	地域において必要な薬物療法が継続されるよう、外来患者に対する指導体制を充実させる。	服用期間を通じた継続的な薬学的管理の対象とする薬剤を増やす。業務体制の見直しにより、投薬時指導の充実を図る。	○	休薬期間が必要で副作用のリスクもあるTS-1について、フォローアップを開始した。また、慢性疾患に対する処方の内容が変更になった際、服用間違いが起きやすいため、説明することとした。調剤および鑑査の手順を見直したことで、インシデント報告を減少させることができた一方で、業務負担は増加した。
ジェネリック医薬品およびバイオ後続品の導入促進	患者の経済的負担および医療費削減に寄与するジェネリック医薬品およびバイオ後続品を導入する。	供給困難等で先発医薬品に変更した品目について、流通状況が改善次第、ジェネリック医薬品への再変更を検討する。	△	医薬品全般の供給体制が不安定となっており、ジェネリック医薬品へ変更できた品目がある一方で、新たにジェネリック医薬品から先発医薬品に変更した品目もある。

令和4年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 放射線科	科長	小板橋 和博
----	---------------	----	--------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・最新医療技術の習得を怠らず安全で質の高い検査を保証し、診断・治療に役立つ画像の提供を努める。 ・放射線科内で情報の共有を図り、他科との連携を密にしチーム医療を行う。 ・放射線検査に関する説明及び撮影方法の提案を行う。 ・放射線の専門職として放射線被ばくの低減に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
症例検討会	撮影技術、症例の研究発表	撮影技術及び診断知識の向上を図る。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・消化管検査の症例発表 ・CT・MRI検査の症例発表
院外勉強会	医師会・放射線技師会が主催する学会・勉強会の参加	最新医療技術の知識習得を図る。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・上部消化管読影勉強会のリモート参加 ・CT・MRI撮影技術勉強会のリモート参加
チーム医療	<ul style="list-style-type: none"> ・画像診断における読影の補助 ・医師・他部署との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急度が高い所見を見落とさず医師との共有を図る。 ・検査時間の短縮・待ち時間短縮を心がけ安全に検査ができるよう努める。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・医師へ検査所見の情報提供 ・消化管検査・乳腺検査の技師所見レポート作成 ・看護師と密に連絡を取り合い検査時間、待ち時間の短縮
医療被ばく線量管理	被ばく線量管理の義務化に伴い指針を策定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線診療に従事する職員の研修を実施する。 ・被ばく線量の管理・記録をおこなう。 	○	研修を1年度あたり1回以上開催し、さらに必要に応じて定期的な開催とは別に臨時に開催
医療機器性能評価	国際医用画像総合展に参加する。	最新医療機器の有効性・安全性についての知識を学ぶ。	○	国際医用画像総合展に参加し、各医療機器メーカーの特性や有効性の確認

令和4年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 臨床検査科	科長	高木 章美
----	----------------	----	-------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床検査科は病院の基本理念に基づいて、常に患者の利益を最優先に考え、実行する。 ・検査データの精確性を第一に考え、医師・患者へ、質の高い・責任を持った検査データの提供を心掛ける。 ・試薬及び機器の安全管理に重点を置くと共に、臨床検査科全体及び個人の能力のスキルアップを怠らない。 ・検査科として関われる患者サービスの向上に、最大限の提供を心掛け、努力を怠らない。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
精度管理事業	毎日行う、内部精度管理及び年数回行われる外部精度管理事業に参加し検査データの精確性を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会・埼玉県医師会等主催の外部精度管理事業に参加し、A評価を得ることを目標とする。 ・平成31年4月1日付けで承認・更新された日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設認証」の認証承認基準を維持する。 	◎	日本臨床衛生検査技師会主催の外部精度管理事業に参加し、評価対数199件中、A・B評価は192件、98.0%であった(日臨技施設認証基準はA・B評価が90%以上)日本臨床衛生検査技師会「精度保証施設認証」の認証基準を維持する目標を達成できた。
機器・試薬の安全管理	日常の始業点検・定期点検を行い検査データを保障する。	日常の機器メンテナンスを心掛けることや毎日行う内部精度管理データの検証により、機器・試薬に依存する検査データの不具合防止に努める。	○	日常の始業点検・定期点検に加え、毎日行う内部精度管理データの検証・稼働中の機器の状況(異音・エラー音などの作業中の情報)を早期に発見することにより、検査データの不具合等はおおむね防止できた。
医療法改正に伴う検査室の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・医療法等の一部改正に伴う、臨床検査における品質・精度の確保等、検査室の整備・対応 ・高度な医療情勢に対応するための適切な研修の実施及び参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省から示された検査室の整備基準に従い、全ての検体検査測定・検査機器保守管理等の標準作業書、各作業日誌、試薬管理台帳等の整備及びその管理運営を引き続き継続・検証・改善に努め、病院内で求められるニーズへ対応する。 ・院内・院外・科内等、種々の研修に参加することにより個人の能力のスキルアップを行ない、検査科全体のレベルアップを目標とする。 	○	整備基準に従い、適切な対応を図ることができた。

医療安全管理	検査業務に関わるアクシデント・インシデント・ヒアリハットなどを発生させない医療安全管理を行う。	医療事故防止のため、人的・機器的要因やシステムを分析し、検査科職員間で情報を共有しその発生防止に努める。また、従来の医療安全の考え方の上に、各自が判断し臨機応変に対応するため個人の調整能力向上に努める。	○	大きなアクシデント等もなく、適切に医療安全管理を行った。
試薬・消耗品管理	検査データの精確性・安定性に重点を置き、コスト意識を常に持ち試薬の検討を行う。	引き続き検査データの精確性・安定性を重視した上で、使用方法・管理等を見直し、コスト削減に臨む。	○	試薬・消耗品の変更及び外注項目の院内検査への変更等を検証し年間コストの削減に貢献できた。
チーム医療	糖尿病療養・感染制御・医療安全等チーム医療への参加など臨床支援に関わる。	検査科として関われるチーム医療で、積極的な支援を継続する。(糖尿病療養チーム、感染制御チーム、医療安全推進チーム、栄養管理チーム、小児科検査機器管理等)	○	各チーム医療において、検査科からの視点で意見を積極的に述べる事ができた。新型コロナウイルスについての情報発信をすることができた。
非常事態時の危機・安全管理	非常事態時の人的確保、検査データの提供、機器・試薬の管理・確保等の検討を行う。	大震災の教訓を生かし、非常事態時における種々の危機を想定した上で、検査科業務の対応を検討する。	○	普段より危機的状況を意識し、機器の設置・固定や無駄にならないような試薬等の備蓄、在庫管理を実行した。
患者サービス	検査科として出来る患者サービスを勘案し、積極的に取り組む。	・患者満足度が上がるような接遇に取り組む。 ・検体採取から結果報告までの時間(TAT)を短縮する。	○	接遇では患者への挨拶・積極的な声掛け等を心掛けた。新型コロナウイルスPCR検査のオンラインシステム導入により、結果報告までにかかる時間が短縮できた。

令和4年度 課長方針 検証

部課	市立病院 医務局 栄養科	科長	高田 隆
----	--------------	----	------

課の運営方針
<ul style="list-style-type: none"> ・自己研さんに励み、チーム医療の一員として栄養面から患者をサポートする。 ・おいしく、安全で、満足度の高い食事を提供する。 ・早期退院を目指し、患者個々の身体状況に応じた栄養管理を心がける。 ・実践しやすく、継続しやすい栄養食事指導を行う。 ・互いに認め合い、協力し、高め合う職場環境づくりに取り組む。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和4年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
病院給食	<ul style="list-style-type: none"> ・大量調理施設衛生管理マニュアルに基づいた安全で衛生的な食事の提供 ・食事アンケート、残菜調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理の徹底と、異物混入、誤配膳等のインシデントの発生防止 ・患者の意見を献立に反映させた、満足度の高い食事の提供 ・食品ロスの削減に努める。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒を発生させることなく安全な食事を提供した。 ・インシデント発生防止のために、最終トレーチェックのダブルチェックを徹底した。 ・食事アンケートを令和4年8月と令和5年2月に行い、残菜調査を毎食実施した。 ・食事アンケートや残菜調査の結果、検食簿の意見を参考に、献立や使用食材の見直しを行った。患者の意見を反映させた満足度の高い食事の提供に努めた。 ・食品ロス削減のため、料理の作りすぎ防止に務めた。 ・令和4年8月より、職員の希望者へ昼食提供を開始した。
栄養（集団食事指導）	糖尿病教室	内科医師と連携し、実践形式を取り入れた指導を行う。 ※新型コロナウイルス感染症対策のため当面中止予定	△	新型コロナウイルス感染症対策のため集団指導は中止となったが、個人指導に力を入れた。
	母親学級	産前産後の栄養についての指導・助言 ※新型コロナウイルス感染症対策のため当面中止予定	△	新型コロナウイルス感染症対策のため母親学級は中止となったが、妊娠中の食事に関する冊子により妊婦への情報提供を行った。

<p>栄養食事指導 (個人指導)</p>	<p>主治医や他院からの依頼による入院栄養食事指導と外来栄養食事指導</p>	<p>患者の社会背景を勘案し、実践しやすく継続しやすい食事計画の提案に努める。</p>	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導内容は、患者の生活条件、嗜好を勘案し、実践しやすく、継続しやすいものになるように努めた。 ・指導資料を新たに数種類作成し、よりわかりやすく、効果的な指導になるように努めた。
<p>入院患者の 栄養管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種と連携し、入院患者の栄養状態のスクリーニング、栄養管理計画書の作成、定期的な評価の実施 ・栄養管理チーム会議の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者個々の栄養状態を把握し、問題がある場合は、最善の栄養療法を提案できるように努める。 ・月1回、他職種と栄養管理チーム会議を実施し、低栄養患者の症例検討を行う。 	<p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ全ての入院患者に対し、入院時の栄養スクリーニング、アセスメントを行い、対象者には栄養管理計画書の作成、定期的な評価を行った。 ・患者や他職種のスタッフともコミュニケーションをとり、一人ひとりの入院患者に対しきめ細やかな栄養管理ができるように努めた。 ・月1回、他職種のメンバーと栄養管理チームの会議を行い、症例検討を行った。